

メルマガ 第7号 吉村順三記念ギャラリーの展示・企画をご案内いたします。

東京都内でも紅葉が美しい季節となりました。

\*\*\*\*\*

現在 吉村順三記念ギャラリーは

★★☆ J YMG 小さな建築展 第24回 ☆★★

「青山タワービル」展を

11月6日(土)から12月12日(日)迄の

各土曜日・日曜日 午後1時～6時まで 開催しております。

### 「青山タワービル」 1969

この建物は、日本における超高層ビル建設が始まってすぐ、東京都心の青山通りに面して建てられました。当時の青山通りには高層ビルはまだ建っておらず、このビルが唯一1本、そのスマートな容姿を現わし大変際立ちました。坪当たり30万円以下、レントラブル比が75%以上のビルが発注者の出した条件。敷地奥の音楽ホールは吉村自身の発案。

オフィス棟は幾種類もの構造アイデアから4本柱の大胆な構造を採用。4本柱構造による荷重の制約、最小限コアの平面計画、厳しいコストに吉村がするどいバランス感覚で挑んでいます。建物全体に無駄を削ぎ落としたシンプルかつシャープな姿があふれています。

音楽ホールは客席数413のシューボックス型。オフィス棟より以上に厳しいコストで造られました。ゆるやかなカーブを描く真っ白な壁の繰り返し、宇宙船をイメージした天井照明、このホールの為にデザインされた客席椅子。どれもがコスト制約を乗り越えた美しいシンプルデザインです。

大きなスケールで出現する高層ビルの設計でも、住宅設計同様社会に対して建築家が果たすべき責任を強く意識した吉村順三。物づくりで忘れられがちな価値観「シンプルで質素な豊かさ」を、この建物は40年の時を越えて語りかけています。(文責 藤井 章)

吉村順三記念ギャラリー 担当・小林 武 ・野口 朝夫 ・藤井 章

尚 本日11月21日(日)と12月5日(日)15～16時 ギャラリートークを行います。是非ご参加ください。

\*\*\*\*\*

東京都港区の「青山タワービル」を先月見学して来ました、40年前の写真も展示しましたので少し写真説明と感想を記します。・・・今でも全くふるびた感がありませんでした。シャープで簡素な形で、柱も最低限の4本、窓はFIX、エレベーターはホールを介さず各階の事務空間に直接面する。外装は白色アルマイトアルミ羽目板・最大市場寸法を使用し軽量化とジョイントのコスト低減、この緊張感がビルディングを引き締めているのであろう。学生時代・先生からは土地探しから建築家として参画したとお聞きしました。「外苑前」

